

少量の放射線の生体影響を探る

環境科学技術研究所 小野哲也

期日:平成 30 年 3 月 3 日(土) 14:00~16:00

場所:大阪府立大学中百舌鳥キャンパス A12 サイエンスホール

プログラム

- 13:30 開場
- 14:00 開会の挨拶
溝口 幸司 (理学系研究科長)
- 14:10 「イントロダクションー放射線の生体影響とは？」
児玉 靖司 (理学系研究科・教授)
- 14:40 「少量の放射線の生体影響を探る」
小野 哲也 (環境科学技術研究所・理事長)
- 15:50 質疑応答
- 16:00 閉会

セミナー概要: 福島原発事故によって多くの人が少量の放射線を被曝するという事態に直面し、その健康影響がどのようなものかについて強い関心をもたれるようになりました。他方、医療の現場では、X線診断やCT検査、PET検査などが急速に進んでおり、そこでも少量の放射線を受けることになるので、その影響が気になるどころです。ところが、これら少量の放射線が人体にどのような影響を及ぼすかについては、まだ全く分かっておりません。ただ、放射線の利用に伴う健康障害を極力少なくしたいという社会の要請に応えるための規制を作っている人たちは、放射線の生体影響は「閾値なし直線モデルに従う」という仮説を作り、そこから被曝の限度というものを定めています。このような不確実な状況を乗り越えるために、環境科学技術研究所では、少量の放射線を長期間被曝した時の生体影響が具体的にどのようなものかについて解明すべく、モデル動物としてマウスを使い研究を続けています。公開セミナーではこれまでに分かったことを紹介します。

●事前の参加申込み・参加費は不要です。

問い合わせ先

〒599-8531 大阪府堺市中区学園町1-1
大阪府立大学大学院理学系研究科支援室
TEL: 072-254-9161
主催:大阪府立大学大学院理学系研究科